

知能機能システム専攻後期

専門科目(必修科目・知能機能システム後期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
02CK001	知能機能システム特別研究III	3	2.0	1-3	通年	随時	知能機能システム担当教員	知能機能システムの各研究テーマに関する研究を指導する。また、プレゼンテーションも行わせる。	必修 対面(オンライン併用型)
02CK002	知能機能システム特別研究IV	3	2.0	1-3	通年	随時	知能機能システム担当教員	知能機能システムの各研究テーマに関する研究を指導する。また、プレゼンテーションも行わせる。	必修 対面(オンライン併用型)
02CK003	知能機能システム特別研究V	3	2.0	1-3	通年	随時	知能機能システム担当教員	知能機能システムの各研究テーマに関する研究を指導する。	必修 対面(オンライン併用型)
02CK005	知能機能システム特別演習VII(英語プレゼンテーション)	6	2.0	1-3	通年	応談	知能機能システム担当教員	知能機能システムの各研究テーマに関する国際会議論文の作成および発表を指導する。受講者は、自らの研究成果を英語論文にまとめて査読付国際会議に応募し、採択されて国際会議で発表できるようにする。この過程で、研究力や専門知識のほか、英語でのコミュニケーション能力や国際性などを養う。	OBLE505と同一。 対面(オンライン併用型)
02CK006	知能機能システム特別演習VIII(学術論文演習a)	6	2.0	1-3	通年	応談	知能機能システム担当教員	知能機能システムの各研究テーマに関する学術論文の作成・投稿・改訂を指導する。受講者は、自らの研究成果を論文にまとめて査読付学術雑誌に投稿し、必要な改訂を行って論文が掲載されるようにする。この過程で、研究力や専門知識などを養う。	OBLE503と同一。 対面(オンライン併用型) オンサイト/オンライン適宜実施

専門科目(共通科目(特別演習))

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
02CK007	知能機能システム特別演習IX(学術論文演習b)	6	2.0	1-3	通年	応談	知能機能システム担当教員	知能機能システム学術雑誌論文発表演習Iの単位を取得した者を対象に、知能機能システムの各研究テーマに関する学術論文の作成・投稿・改訂を指導する。受講者は、自らの研究成果を論文にまとめて査読付学術雑誌に投稿し、必要な改訂を行って論文が掲載されるようにする。この過程で、研究力や専門知識などをさらに高める。	OBLE504と同一。 対面(オンライン併用型)
02CK008	知能機能システム特別演習X(学術論文演習c)	6	2.0	1-3	通年	応談	知能機能システム担当教員	知能機能システム特別演習IXの単位を取得したものが、知能機能システムの各研究テーマに関する学術論文のライティング技術の習得と向上をはかり、査読付雑誌論文誌に掲載される。	当専攻の学生のみ履修可 対面(オンライン併用型)
02CK010	知能機能システム特別演習XII(学生委員会における運営等)	6	1.0	1-3	通年	応談	知能機能システム担当教員	学会等の学生委員会委員になり委員会の運営や活動に参画し、大きな貢献を果たす。	当専攻の学生のみ履修可 対面(オンライン併用型)
02CK011	知能機能システム特別演習XIII(専門分野を活かした社会貢献等)	6	1.0	1-3	通年	応談	知能機能システム担当教員	知能機能システム分野における自分の専門分野を活かした社会貢献活動等に参加し、大きな貢献を果たす。	当専攻の学生のみ履修可 対面(オンライン併用型)

専門科目(共通科目(特定演習))

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
02CK031	知能機能システムコラボラトリー演習III	3	1.0	1	通年	応談	知能機能システム担当教員	異分野の研究室のゼミ等に参加し、異なる専門分野における問題やその解決方法を学ぶと共に、視野を拓け自分の研究の深化に役立てる。これによって複数の工学分野やそれ以外の学問領域にまたがる問題を幅広い視点から適切に解決する能力、および移り変わる社会のニーズに対応した重要な問題を見極めそれを解決することによって社会または学術の進歩に貢献できる能力を養う。	対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
02CK032	知能機能システムコラボラトリー演習IV	3	1.0	2	通年	応談	知能機能システム担当教員	異分野の研究室のゼミ等に参加し、異なる専門分野における問題やその解決方法を学ぶと共に、視野を拡げ自分の研究の深化に役立てる。これによって複数の工学分野やそれ以外の学問領域にまたがる問題を幅広い視点から適切に解決する能力、および移り変わる社会のニーズに対応した重要な問題を見極めそれを解決することによって社会または学術の進歩に貢献できる能力をさらに強化する。	対面(オンライン併用型)
02CK033	知能機能システム計画調書作成演習III	2	0.5	1	通年	応談	海老原 格, 澁谷長史, 橋本 悠希, 前田 祐佳, 川崎真弘, 新里 高行, 善甫 啓一, 河合新, グエン チェトヴァン	知能機能システムの各研究テーマに関する研究計画を立案し、日本学術振興会特別研究員DC2を申請する。日本学術振興会特別研究員DC1及びDC2採用者の場合は、科学研究費の交付申請書を作成し申請する。	オンライン(同時双方向型)
02CK034	知能機能システム計画調書作成演習IV	6	0.5	2	通年	応談	海老原 格, 澁谷長史, 橋本 悠希, 前田 祐佳, 川崎真弘, 新里 高行, 善甫 啓一, 河合新, グエン チェトヴァン	知能機能システムの各研究テーマに関する研究計画を立案し、日本学術振興会特別研究員DC2を申請する。日本学術振興会特別研究員DC1及びDC2採用者の場合は、科学研究費の交付申請書を作成し申請する。	オンライン(同時双方向型)